

みずほCustomer Desk Report 2020/11/24号(As of 2020/11/23)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	103.83	1.1864	123.20	1.3301	0.7313
SYD-NY High	104.63	1.1906	123.82	1.3396	0.7337
SYD-NY Low	103.69	1.1800	123.15	1.3265	0.7266
NY 5:00 PM	104.53	1.1842	123.79	1.3327	0.7287
NY DOW	29,591.27	327.79	日本2年債	-	-
NASDAQ	11,880.63	25.66	日本10年債	-	-
S&P	3,577.59	20.05	米国2年債	0.162	0.31bp
日経平均	-	-	米国5年債	0.387	1.45bp
TOPIX	-	-	米国10年債	0.858	3.43bp
シカゴ日経先物	25,940.00	195.00	独10年債	-0.5795	0.50bp
ロンドンFT	6,333.84	▲ 17.61	英10年債	0.3170	1.50bp
DAX	13,126.97	▲ 10.28	豪10年債	0.8630	▲ 0.10bp
ハンセン指数	26,486.20	34.66	USDJPY 1M Vol	6.25	0.22%
上海総合	3,414.49	36.76	USDJPY 3M Vol	6.37	▲ 0.06%
NY金	1,837.80	▲ 34.60	USDJPY 6M Vol	6.60	▲ 0.03%
WTI	43.06	0.64	USDJPY 1M 25RR	-0.68	Yen Call Over
CRB指数	157.326	1.16	EURJPY 3M Vol	6.65	▲ 0.13%
ドルインデックス	92.52	0.13	EURJPY 6M Vol	6.95	▲ 0.10%

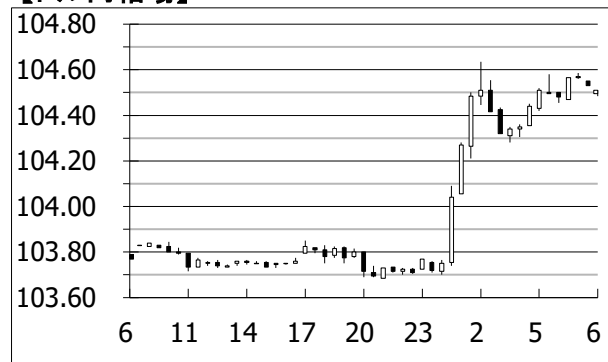
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
11月23日	17:30	独	マークイット製造業PMI・速報	11月	57.9	56
	17:30	独	マークイットサービス業PMI・速報	11月	46.2	46.3
	22:30	米	シカゴ連銀全米活動指数	10月	0.83	0.27
	23:45	米	マークイット製造業PMI・速報	11月	56.7	53
	23:45	米	マークイットサービス業PMI・速報	11月	57.7	55

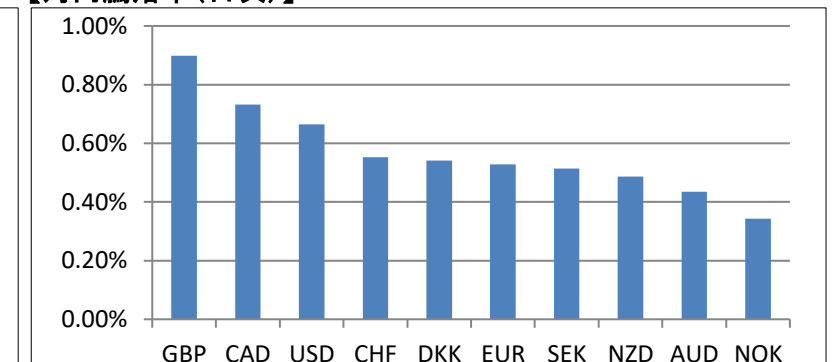
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
11月24日	16:00	独	GDP(前期比)・確報	3Q	8.2%	8.2%
	18:00	独	IFO企業景況感指数	11月	90.2	92.7
11月25日	02:00	米	ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.30-104.20	1.1830-1.1900	122.50-123.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、海外時間で急伸。アジア時間、欧州時間は薄商いとなり動意の薄い展開となった。その後、米国時間に入り発表された米11月PMIが、製造業・サービス業ともに予想を上回ったことで、ショートカバーを呼び込み、104円台半ばまで上昇した。しかし、バイデン氏の閣僚人事が徐々に明らかになる中、ドル買い戻しの勢いも続かず結局104円台半ばでの推移となった。本日のドル円は、英アストラゼネカが新型コロナワクチンの臨床試験で平均70%の有効性を報道する等、引続き開発状況が注目される中、足許の感染者は増大しており、株式市場、米長期金利の動向を睨みながらの上値重い展開を予想。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐
ペア	ペア	ブル	ブル	ブル	ブル	ペア	ブル	ペア	ペア	ペア
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村	
ブル	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	ブル	ブル	ペア	ペア	

ブル ペア
8 13

アジア	アジア時間のドル円は103.83レベルでオープンした後、午前中に103.72まで弱含んだ。しかしその後は東京市場休場で薄商いの中、103.70台での小幅な値動きに終始し、103.75レベルで海外時間へ渡った。(香港時間14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、103.75レベルでオープン。円休日の中、欧州株は堅調で円安とドル安が交錯し方向感が出にくかった。103.69-85円で推移し103.73レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	本日は東京が休場で、今週は米国も感謝祭の週であることから市場参加者の減少が意識される中、海外市場のドル円は103.69-85での狭いレンジでの推移が続き、103.73レベルでNYオープン。朝方は英製薬会社のワクチンの有効率が先週伝わった2つのワクチンよりも少し低いものの保管や移動の為に冷凍する必要がないなどの利点もあり、リスク志向が強まるが、ドル円はドルが売られる一方、円も売られる動きに、狭いレンジでの推移が続く。月末はリバランスからドルが売られるとの見方がある中、対円でのドルショートポジションが大きく積みあがっていることが認識され、普段は注目度は低い米11月PMIが、製造業並びにサービス業ともに予想を上回ったことをきっかけに、ドルショートポジションをカバーする動きが強まり、ドル円は104.30まで急伸する。その後もロンドンフィックスに掛けてドル買いが更に強まり、104.63まで戻す。バイデン氏の閣僚人事が徐々に明らかになる中、ブレインード理事に対してバイデン氏側近がFedに残るように要請しているとのヘッドラインや、財務長官にハ派で知られるイレブン元FRB議長が指名されるとのニュースもありドル売り円売りにドル円は値動きを挟まれ、104.50付近での推移が続き、104.53レベルでクロスした。一方、3つ目のワクチンのニュースにリスク志向のドル売りが強まり、海外市場で2週間ぶりに1.19台へ乗せ、1.1906まで戻したユーロドルは、1.1903レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、米国PMI結果を受けたドル買い戻しに反落し、その後も短期的なストップを巻き込み、ロンドンフィックスでドルが買われたこともあり1.1800まで急落する。午後は株式市場が上昇する中、ドル買いが後退したことから、ユーロドルは1.1848まで戻し、1.1842レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。